

真駒内駐屯地の現状と、南区平和運動の取り組み

札幌平和委員会青年部
(札幌市議会議員予定候補)
紙谷 恭平

1. 真駒内駐屯地の特徴的動き

- ・自衛隊基地の隣から見た訓練
イラク戦争以降は、市街戦を想定した訓練を頻発
ヘリコプターによる訓練が増加
- ・真駒内地域の騒音
近隣には幼稚園、保育園、民間病院もある
一般開放周辺はとりわけひどくなる傾向



2. 今年の基地一般開放の特徴

- ・東日本大震災の救援活動と地域住民から感謝される姿をアピール
- ・模擬戦闘では、沿岸部から上陸してくる敵を撃滅する防衛戦
- ・小さい子どもにはカッコよさ、中高生には隊員が真剣に入隊を勧める姿があちこちで

3. 南区のまちづくりと自衛隊

- ・真駒内地域再開発と抱き合わせで、自衛隊強化の動き～自衛隊病院の移設
- ・町内会ぐるみが当たり前のように行われてきた
- ・職業訓練として全道から中学生を受け入れている
- ・島松演習場での騒音被害における札幌市の対応の悪さ

4. 南区平和運動の取り組み

- ・訓練強化を行わない申し入れ行動
- ・9条の会の基地巡りツアー
- ・毎月9と19に欠かさず行う「9の日行動」

補足：自衛隊基地交付金の実態

札幌市の基地交付金相当額「2億円」
昨年度に国が支払った金額「9千万円」

